年次財務概要のスピーチ

こんにちは、皆さん。

本日は、Fabrikam の前会計年度の損益計算書の結果をご確認いただき、誠にありがとうございます。弊社の 1 年の成長と前進をご報告いたします。

まずは収益で、3 つの重要な分野で大幅増となりました。クラウド コンピューティング セグメントは、昨年の 3,065 万ドルから今年は 3,530 万ドルに増加しました。人工知能は著しく成長し、835 万ドルから 2,284 万 5,000 ドルに増加しました。ライセンス料も 1,530 万ドルから 1,827 万 5,000 ドルに増加しました。しかし、IT サービスの収益は少し減少し、昨年の 9,032 万 5,000 ドルから今年は 8,236 万 9,000 ドルになりました。それでも、総収益は 1 億 4,462 万 5,000 ドルから 1 億 5,878 万 9,000 ドルに増加しました。

売上原価は上昇し、合計が昨年の 4,594 万 2,000 ドルに対して今年は 5,354 万ドル増加しました。この増加は、直接材料費と人件費の増加に加え、製造間接費の増加が原因と考えられます。その結果、粗利益は 9,868 万 3,000 ドルから 1 億 5,24 万 9,000 ドルに改善しました。

また、営業費用も増加し、販売費は 1,025 万ドル、研究開発費は 512 万ドル、一般管理費は 1,244 万 7,000 ドル、減価償却費は 621 万ドルに増加しました。その結果、総営業費用は 3,214 万ドルから 3,402 万 7,000 ドルに増加しました。

これらの増加にもかかわらず、営業利益 (EBIT) は 6,654 万 3,000 ドルから 7,122 万 2,000 ドルに増加しました。これは、収益の増加を促進しながら、コストを効果的に管理できていることを示しています。

その他の収益および経費は、利息収入がわずかに増加して 876,200 ドルになりましたが、支払利息も 367 万 5,000 ドルに増加しました。雑収入は約 315,750 ドルで横ばいでした。その結果、その他の収益および経費の合計は、純支出のわずかな増加を反映して、今年は合計 248 万 3,000 ドルとなりました。

税引前利益 (EBT) は 6,417 万 8,000 ドルから 6,873 万 9,000 ドルに増加しました。連邦法人所得税費用は 1,443 万 5,000 ドルに増加し、ミネソタ州の法人所得税費用は 673 万 6,000 ドルに増加しました。この結果、合計法人所得税費用は 2,117 万 1,000 ドルになります。

最終的に、当期純利益は 4,441 万 1,000 ドルから 4,756 万 7,000 ドルに増加しました。

これらの結果は、弊社のイノベーションと成長への継続的なコミットメントを反映しており、将来の見通しについては引き続き楽観しております。Fabrikam に対する変わらぬご支援とご協力をいただき、ありがとうございます。

[任意: 質問と回答]

ありがとうございます。